

# NEC Express5800 シリーズ

## Express5800/R31Aa-E2, R32Aa-M2, R32Aa-H2

---

## 通報設定

本機から送信する SNMP Trap を通報監視端末で受信するための設定手順について説明します。

---

## 目次

---

目次.....	2
<b>1. 監視端末の準備.....</b>	<b>3</b>
<b>1.1 ESMPRO/ServerManager のインストール.....</b>	<b>3</b>
<b>1.2 アラート定義ファイルの登録.....</b>	<b>3</b>
<b>2. SNMP Trap の設定.....</b>	<b>5</b>
<b>3. エクスプレス通報サービス(MG)の設定.....</b>	<b>6</b>
<b>3.1 エクスプレス通報サービス(MG)のインストール.....</b>	<b>6</b>
<b>3.2 開局.....</b>	<b>6</b>
<b>3.3 受信情報の設定.....</b>	<b>7</b>
<b>4. その他の設定.....</b>	<b>8</b>
<b>4.1 SNMP Trap の送信元 IP アドレスを固定化する方法.....</b>	<b>8</b>
<b>4.2 アラートタイプ追加時のレジストリ設定.....</b>	<b>10</b>

---

## 1. 監視端末の準備

---

本機の SNMP Trap を受信する監視端末を準備します。



本機からの SNMP trap を受信するためには、ESMPRO/ServerManager を動作させる監視端末（Windows PC）が必要となります。

---

### 1.1 ESMPRO/ServerManager のインストール

---

1. 以下のサイトから ESMPRO/ServerManager のインストール媒体とインストレーションガイドをダウンロードします。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110069>

2. インストレーションガイドに従って、ESMPRO/ServerManager を監視端末にインストールします。

---

### 1.2 アラート定義ファイルの登録

---

1. 以下のサイトから本機のアラート定義ファイル( ztC\_Endurance.def )をダウンロードします。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109866>

2. ダウンロードしたアラート定義ファイルを ESMPRO/ServerManager インストール環境の以下のパスにコピーします。

C:\Program Files (x86)\ESMPRO\NVWORK\PUBLIC\TRAP

3. アラート定義ファイルを有効とするため、監視端末の OS を再起動します。
4. OS 再起動後、監視端末にログインし、ESMPRO/ServerManager を起動します。
5. [登録]-[手動登録] - [アラート受信のみ管理]を選択し、本機の情報を入力し、[追加]をクリックします。



IP アドレスには、インストールガイド(Windows 編) の「5.1 事前に収集、整理しておく情報」の「表 1-2」の「win\_ipaddr」を指定します。

以上で監視端末の準備は完了です。

## 2. SNMP Trap の設定

本機の SNMP Trap の設定を行います。

1. 監視端末または他のコンピュータでブラウザを起動し、ztC Endurance コンソールにログインします。



ztC Endurance コンソールの利用方法は、「メンテナンスガイド(Windows 編)」の「1 章 (4.1 ztC Endurance コンソール)」を参照してください。

2. 左のメニューから[SNMP Configuration]をクリックします。
3. [Enable SNMP Traps]をチェックします。
4. [Select/Add a Community:]のドロップダウンメニューから[Add a Community]を選択し、表示されたテキストボックスにコミュニティ名（通常は public）を入力して「Add Community」ボタンをクリックします。
5. [List of Recipients for SNMP Traps]に、ESMPRO/ServerManager をインストールした監視端末の IP アドレスを指定します。監視端末が複数台ある場合は、IP アドレスを入力し Enter キーを押して改行した後に、次の IP アドレスを入力します。
6. [Save]をクリックして設定を保存します。
7. [Generate Test Alert]をクリックし、ポップアップメッセージが表示されたら「OK」を押します。  
その後に監視端末のアラートビューアにテストアラートが届くことを確認します。



SNMP Trap の送信元の IP アドレスは、固定 IP アドレスとしてください。  
DHCP は利用しないでください。



アラートビューアの[コンポーネント]で「不明なサーバ」と表示された場合は、以下の手順により、ESMPRO/ServerManager に登録した本機の IP アドレスを変更します。

1. ESMPRO/ServerManager を起動します。
2. [装置]を選択し、本機を選択します。
3. [設定]タブをクリックし、[編集]ボタンをクリックします。
4. IP アドレスを、アラートビューアのアドレスに表示された IP アドレスに変更します。
5. [適用]をクリックし、設定を保存します。

以上で SNMP Trap の設定は完了です。

---

## 3. エクスプレス通報サービス(MG)の設定

---

エクスプレス通報サービス(MG)を利用する場合は、設定を行います。

エクスプレス通報サービス(MG)を利用しない場合は、以降の設定は実施不要です。

---

### 3.1 エクスプレス通報サービス(MG)のインストール

---

1. 以下のサイトから エクスプレス通報サービス(MG)のインストール媒体とインストレーションガイドをダウンロードします。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124>

2. インストレーションガイドに従って、エクスプレス通報サービス(MG)を監視端末にインストールします。

---

### 3.2 開局

---

1. インストレーションガイドの「3.1.2 開局通報」の手順を実施して、エクスプレス通報サービス(MG)を開局します。



チェック

開局するためには、通報開局キーコード、または、開局キーファイルが必要です。

---

## 3.3 受信情報の設定

---

1. 以下のサイトから本機の受信情報ファイル( ztC\_Endurance.mtb )をダウンロードします。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=3140109866>

2. インストレーションガイドの「3.2.4 受信情報の設定」の手順を実施して、本機の受信情報ファイルを  
ESMPRO/ServerManager に登録します。

以上でエクスプレス通報サービス(MG)の設定は完了です。

## 4. その他の設定

必要な場合は、以下の設定を行ってください。

### 4.1 SNMP Trap の送信元 IP アドレスを固定化する方法

ネットワークアダプターの搭載状況やネットワーク設定によっては、本機からの SNMP Trap の送信元 IP アドレスが固定化できない場合があります。

そのような場合は、以下の設定を実施して、送信元 IP アドレスを固定化してください。

1. 本機の Windows OS にログインし、[スタート]メニューから[コントロールパネル]を開きます。
2. [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [EMBEDDED-2] と順にクリックします。
3. [プロパティ]をクリックし、「接続の方法 : 」の下に表示される「デバイス名」をメモします。  
例) Microsoft Network Adapter Multiplexor Driver #2
4. [インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]を選択した状態で[プロパティ]をクリックします。
5. [次の IP アドレスを使う]を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。
6. [OK]をクリックして設定を保存します。
7. [スタート]メニューから[Windows システムツール] - [コマンドプロンプト]を開きます。
8. 以下のコマンドを実行します。

コマンド : route print -4

<入力例>

```
C:\Users¥Administrator>route print -4
=====
インターフェイス一覧
 3...00 04 fc f1 20 07 .....Microsoft Network Adapter Multiplexor Driver #2
22...00 04 fc f1 20 06 .....Microsoft Network Adapter Multiplexor Driver
14...00 04 fc f1 20 05 .....Stratus I210-BP
 9...00 04 fc f1 20 04 .....Stratus I210-BP #2
 1.....Software Loopback Interface 1
=====
```

- 3.でメモしたデバイス名と一致するインターフェイス番号をメモします。



（上記の場合、デバイス名が“Microsoft Network Adapter Multiplexor Driver #2”と一致するインターフェイス番号は 3 です。）

9. 以下のコマンドを実行します。

コマンド : route add -p <監視端末の IP アドレス> mask 255.255.255.255 0.0.0.0 if (インターフェイス番号)

<入力例>

```
C:\Users\Administrator>route add -p xxx.xxx.xxx.xxx mask 255.255.255.255 0.0.0.0 if 3
```

xxx.xxx.xxx.xxx は、実際の環境に合わせた IP アドレスを指定してください。

## 4.2 アラートタイプ追加時のレジストリ設定

監視端末に WebSAM AlertManager をインストールし、本機のアラートタイプについて、通報連携を行いたい場合は、以下の手順に従って、監視端末にレジストリデータを登録してください。

1. 監視端末にログインし、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックし、“regedit” と入力して、レジストリエディタを開きます。

2. 以下のキーを作成します。

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥NEC¥NVBASE¥AlertViewer¥AlertType¥ztC

※ OS が x86 の場合は以下に読み替えてください。

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥NVBASE¥AlertViewer¥AlertType¥ztC

- (1) レジストリエディタの左側ペインで

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥NEC¥NVBASE¥AlertViewer¥AlertType

を右クリックし、「新規」→「キー」を順にクリックします。

- (2) HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥NEC¥NVBASE¥AlertViewer¥AlertType¥

新しいキー#1 を右クリックし、「名前の変更」をクリックします。

- (3) “ztC” を入力して Enter キーを押します。

3. 作成した ztC キー配下に以下の名前、データを作成します。

"AniDefault"="Default.bmp"

"Image"="Default.bmp"

"SmallImage"="Default.bmp"

"WavDefault"="Server.wav"

※ =の左辺が名前、右辺がデータです。データはいずれも文字列型です。

- (1) レジストリエディタの左側ペインで

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥NEC¥NVBASE¥AlertViewer¥AlertType¥ztC

を右クリックし、「新規」→「文字列値」を順にクリックします。

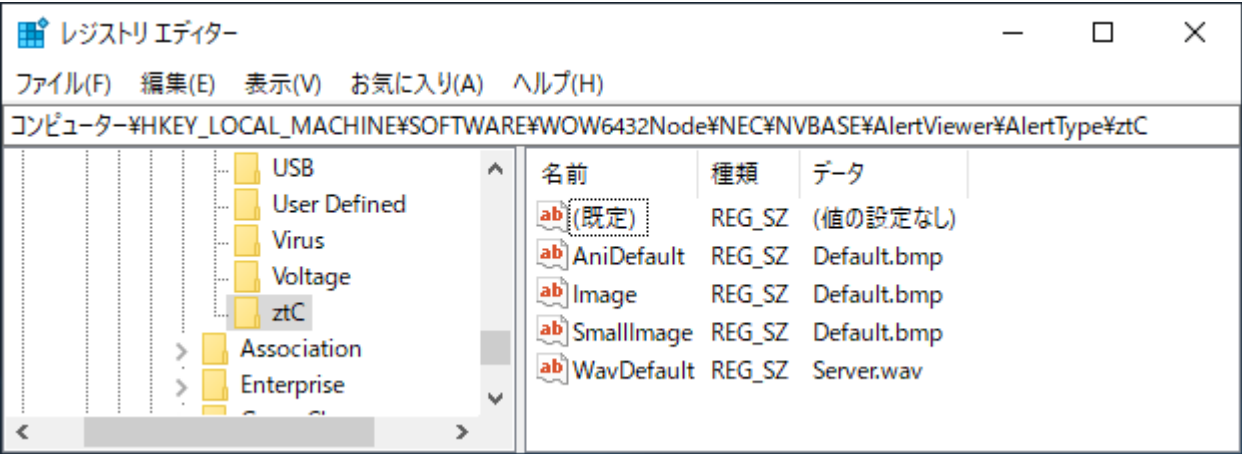
※ OS が x86 の場合は以下に読み替えてください。

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥NVBASE¥AlertViewer¥AlertType¥ztC

- (2) 右側ペインの「名前」欄に名前（上記の左辺）を入力して Enter キーを押します。

- (3) 右側ペインの「名前」欄の入力値を右クリックして「修正」をクリックします。

- (4) 値のデータに設定値（上記の右辺）を入力し、「OK」をクリックします。



4. 作成した ztC キーに対して、以下のアクセス権を設定します。

Administrators	フルコントロール
Everyone	読み取り
SYSTEM	フルコントロール
ESMPRO ユーザグループ (*)	フルコントロール

(\*) ESMPRO ユーザグループ は、ESMPRO/ServerManager インストール時に指定した、ESMPRO を使用するユーザを管理するためのグループ名です。

以下のレジストリにも格納されています。

[HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\NVBASE\]  
名前 : LocalGroup  
※ OS が x86 の場合は以下に読み替えてください。  
HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\NEC\NVBASE

(1) レジストリエディタの左側ペインで

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\NEC\NVBASE\AlertViewer\AlertType\ztC  
を右クリックし、「アクセス許可」をクリックします。

※ OS が x86 の場合は以下に読み替えてください。  
HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\NEC\NVBASE\AlertViewer\AlertType\ztC

(2) 「グループ名またはユーザ名」で上記のユーザを選択し、右側に記したアクセスレベルを許可するチェックボックスをオンにします。

ユーザが一覧に表示されていない場合は、「グループ名またはユーザ名」で「追加」ボタンをクリックして追加してください。